

平成25年度 へき地部の活動

I はじめに

八幡浜支部において、へき地指定校はないが、複式学級を有する小規模校は6校あり、それらの学校でへき地部会を構成している。近年、支部内の児童数は、減少傾向にあり、複式学級を新設する学校が増えつつある。

そこで、八幡浜支部では、複式授業における指導力の向上や少人数学級のよさを生かした学習指導の在り方などについて研究を深めている。

II 研究主題

ふるさとを愛し、たくましい実践力をもち、主体的・創造的に生きる人間性豊かな子どもの育成

III 活動の概要

1 第1回へき地部員会（4月）

① 活動方針・事業計画立案

2 市へき地・複式教育部会

① 期 日 平成25年10月10日(木)

② 会 場 八幡浜市立舌田小学校

③ 内 容

ア 公開授業

1・3年複式授業 国語

（1年「くじらぐも」・3年「ちいちゃんのかげおくり」）

イ 研究協議

八幡浜市内各校より23名の参加があった。特に複式学級の学習指導における工夫・改善や極少人数における表現力の育成などについて協議がなされた。その後、部会顧問校長より、間接指導の留意点、複式授業における交流（伝え合う活動）等について、指導・助言をいただいた。

3 第2回へき地部員会（1月）予定

① 複式指導案集の作成と配布

② 平成25年度事業報告・活動の反省



市へき地・複式教育部会

IV おわりに

八幡浜市においては、平成25年度末をもって、舌田小、日土東小の2校が閉校する。へき地・小規模校をとりまく状況が年々厳しさを増す中、各学校では、へき地教育の実践を積み重ねている。また、本部会では、市教育研究集会のへき地・複式部会や複式指導案集の発行により情報交換を行い、研修を深めている。へき地・小規模校ゆえの悩みや課題はあるが、今後もへき地・小規模校でしかできないことを追求し、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる児童の育成に努めていきたい。